

# INON

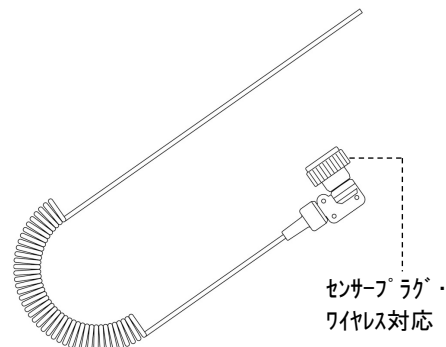
## イン L 型光 D ケーブル

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

イン L 型光 D ケーブルは、対応するデジタルカメラの内蔵フラッシュ光を導く事で、外部ストロボ撮影を簡単に実現する、光ファイバーを用いた接続オプションです。

製品内訳 :  
・ L 型光 D ケーブル ×1  
・ 使用説明書(本書) ×1

対応カメラシステム (2018年5月現在) :  
・ イン X-2 + キヤン EOS80D/6D/70D/60D/50D/40D/30D/20D/10D (\*1, \*3)  
・ イン X-2 + パナソニック GF2/GF1 (\*1, \*3)  
・ イン DN-880 + ニコン E880 (\*1)  
・ イン DN-800 + ニコン E800 (\*1)  
・ イン 「L 型光 D ケーブル・キャップ W2-W37 セット」、  
「L 型光 D ケーブル・キャップ W39-W54 セット」、及び  
「L 型光 D ケーブル・フラッシュ W52-W60 セット」に対応するカメラシステム (\*2)  
(\*1) 1 灯目の外部ストロボ 接続用  
(\*2) 2 灯目の外部ストロボ 接続用  
(\*3) 2-4 灯目の外部ストロボ 接続用



接続対応ストロボ (2018年5月現在) : **L 型光 D ケーブルをそのまま、取付け可能な機種(ワイヤレス対応、ストロボ)**

- ・ イン Z-330、S-2000、Z-240 【Type4】、D-2000 【Type4】

**L 型光 D ケーブルのセンサーブラケットを、「センサーブラケットワイヤレス非対応」(別売)へ交換する必要がある機種(ワイヤレス非対応、ストロボ) (※)**

- ・ イン Z-240 【Type3/Type2/Type1】、D-2000 【Type3/Type2/Type1】  
D-2000W、D-2000Wn、D-2000S、D-180、D-180S、Z-220F、Z-220、Z-220S
- ・ イン TTL 調光センサー Z + イン Z-22
- ・ イン TTL 調光センサー SB + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イン TTL 調光センサー YS + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イン フォーカスライトコントローラー + イン Z-220F/Z-220S/Z-220/Z-22



**「センサーブラケットワイヤレス非対応」  
【別売】**

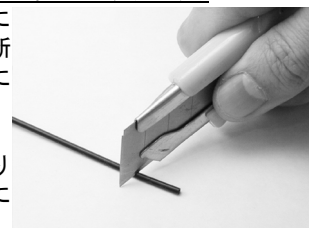
(※) 交換方法については、「センサーブラケットワイヤレス非対応」付属の「ストロボ側 L 型コネクタ仕様変更手順書」をご参照の上、センサーブラケットの交換を行ってからご使用下さい。

### 接続方法

- ・ L 型光 D ケーブルの“光ファイバー断端”を、カメラシステム側の「ダブル光 D コネクタ」(X-2) / 「光 D コネクタ」(DN-880、DN-800) / 「ホルダーユニット/遮光板ユニット」(L 型光 D ケーブル・キャップ W2-W37 セット/W39-W54 セット) / 「光ファイバー用 2 穴ゴムフラッシュ」(L 型光 D ケーブル・フラッシュ W52-W60 セット) へ固定します。各カメラシステムへの固定方法につきましては、対応製品付属の使用説明書をご確認下さい。
- ・ L 型光 D ケーブルの“黒プラスチック側端 [ストロボ側コネクタ]”を、ストロボ側の“スレーブセンサー”部 (Z-330、S-2000、Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000S、D-180、D-180S) / “調光センサー”部 (Z-220F、Z-220S、Z-220)、或いは“TTL 調光センサー” / “フォーカスライトコントローラー” へ直接ねじ込み、外部ストロボ側に固定します。各ストロボへの固定方法につきましては、各ストロボ/TTL 調光センサー/フォーカスライトコントローラー付属の使用説明書をご確認下さい。  
強く締め過ぎると、各コネクタ、或いは接続機器側の接続部が破損する可能性がありますので、ご注意ください。

### メンテナンスについて

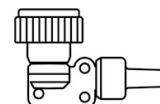
- ・ ご使用後は、カメラシステム/ストロボ等から取り外し、真水中 (30℃以下) に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エタノール等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい (完全乾燥には数日掛かります)。
- ・ 特に 各コネクタ内側の“光ファイバー断端”は丁寧に洗い、塩分を良く落して下さい。 “光ファイバー断端”に傷が付いたり、塩分が残留して曇ってしまったりと、信号がうまく伝わらなくなる場合があります。
- ・ 上述の理由等で信号が伝わり難くなった場合や、ケーブルを短くして使用するには、必要に応じて光ファイバーを切る事が出来ます (L 型コネクタ側の光ファイバーを切断する場合は、弊社ホームページの『TOP > テクニカルガイド > L 型光ケーブル分解組立』にて公開しております [L 型コネクタ仕様変更手順書] をご参照下さい)。  
光 D ケーブルの切断には、カミリやカッターナイフ等、鋭利な刃物を使って下さい。  
光 D ケーブルの中心にある光ファイバーの切断面に凹凸が出来ると、光信号が伝わり難くなります。切断前の状態よりも断面の凹凸が酷くなった場合や、切断後に信号が伝わり難くなった場合は、切断作業をやり直して下さい。



- 使用上の注意** :
- ・ L型光Dケーブルは超耐久仕様(最小曲げ半径 2mm)となっておりますが、それ以上曲げたり、強い刺激が加わったりすると、内部で折れる可能性があります。また、長時間曲げたままにすると形状が記憶されてしまいます。上記光ファイバ-断端の劣化以外であっても、正常に信号が伝わらなくなりましたら、オプションの「交換用光ファイバ- L型光Dケーブル/L型光ケーブルM用」と交換して下さい。
  - ・ L型光Dケーブルをカメラシステムやストロボに接続した状態で、ケーブルを持ってそれらを持ち運ぶなどすると、光ファイバがL型コネクタから外れたり、ストロボ/L型コネクタ/光ファイバ-等が破損する恐れがあります。このような扱いは避けて下さい。

- オプションについて :
- ・ 交換用光ファイバ- L型光Dケーブル/光ケーブルM用 [保守部品] ¥4,000-(税抜)  
本製品からストロボ 取付用のコネクタを除いた物です。

- ・ ストロボ 側 L型コネクタキット(ワイヤレス対応) [保守部品] ¥2,500-(税抜)  
本製品から光ファイバ-を除いた、コネクタキットの交換キットです。



- ・ センサーラック・ワイヤレス対応 [保守部品] ¥600-(税抜)  
本製品に標準装備されている、ワイヤレス 対応、ストロボ 用のセンサーラックです。



- ・ センサーラック・ワイヤレス非対応 [保守部品] ¥600-(税抜)  
ワイヤレス 非対応、ストロボ 用のセンサーラックです。本製品を、ワイヤレス 非対応、ストロボ (本書内「接続対応ストロボ」の項参照)に使用する場合に、本製品のセンサーラック・ワイヤレス対応と交換します。



有限会社 イノ  
〒247-0061  
神奈川県鎌倉市台 2-18-9  
Tel. 0467-48-2174  
Fax. 0467-48-2178  
E-mail support@inon.co.jp  
URL  
<http://www.inon.co.jp/>

2018年5月